2016 年度 線形代数学・同演習 B

- 成績評価
 - 筆記試験(中間・期末),小テストにより総合的に判断する.
 - 真面目に講義に取り組めば、合格となるよう設定する.
 - 中間試験の結果に応じて,レポートを課す場合があります.
- 講義のスタイルは前期と同様に,板書による講義を行う.
 - 小テストを毎週行い,特に小テストを利用して出席を取る.
 - * 教科書・ノートを見てもよく,また友人たちと相談してもよいものとする.
 - ただし声量は控えめに。
 - * 質問や意見要望を記述する欄を設けているので,何かあったら記述してください.
 - ・下記の講義用ページに質問とその回答をアップロードします(前期と同様).
 - * 翌週の講義前に返却する.もっと良い返却方法があったら教えてください.
 - * 因みに小テストの採点は TA の方にお願いしています.
 - 毎週配る演習問題は,確認はしないが,全問解くのが望ましい(試験範囲に含める).
 - * 解答(あるいはヒント)は,問題を配布して二週間後を目安にアップロードする予定です.
 - * 無印は基本問題, † は特に解いてほしい問題, * は応用問題(とする予定).
 - * ただし * は試験範囲外です.
- 講義中に配布したプリントや演習問題の解答などは次の講義用ページからダウンロードできます.

http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~h-nakashima/lecture/2016LA.html

- 教科書:「入門線形代数」 三宅敏恒著 培風館
 - なるべく教科書に従って進む予定ですが,定理番号等は講義に合わせて変更します.
- 講義において参考にする本

線形代数に関する参考書

- 「線型代数学」 佐武一郎 著 裳華房
- ―「線形代数学講義」 金子晃 著 サイエンス社
- 「線形代数 30 講」 志賀浩二 著 朝倉書店
- -- 「新版 演習 線形代数」 寺田文行 著 サイエンス社

その他の参考にする本

- —「微分積分学講義」 野村隆昭 著 共立出版
- その他
 - 諸事情 (部活動 , 病気 , 寝坊等) により講義に出られないとき , 当日 17 時までにその旨を h-nakashima@math.kyushu-u.ac.jp

まで連絡すること.

- 講義で用いる略記号一覧.

Rem=Remark (注意), Def=Definition (定義), Thm=Theorem (定理), Lem=Lemma (補題), Prop=Proposition (命題), Ex=Example (例), pr=proof (証明)